

日本漆アカデミー 漆の講演会

入場無料！
申込み不要！
逐次通訳あり！

「Getty 保存修復研究所、 RADICAL プロジェクトを語る」

日時：2018年6月10日（日） 13:00～16:00（開場12:30）

場所：明治大学お茶の水キャンパス 紫紺館S6・S7会議室（JR御茶ノ水駅歩5分）

1. 趣旨説明

2. 講演1（13:05～13:50）

「RADICAL プロジェクト—ワークショップ・カリキュラムと参加者ネットワーク—

ステファニー・オーフレット博士（GCI、プロジェクト専門員、コンサバター）

3. 講演2（13:55～14:40）

「RADICAL プロジェクト—その科学調査と手順を中心に—

マイケル・シリリング博士（GCI、シニア科学者）

4. 質疑応答およびディスカッション（14:50～16:00）

司会進行：本多貴之（明治大学理工学部）

.....【 RADICAL プロジェクトと本講演会の概要 】.....

アメリカ、ゲッティ保存修復研究所（Getty Conservation Institute）のシニア科学者マイケル・シリリング博士らはこの数年来、RADICAL（Recent Advances in Characterizing Asian Lacquer）Project（アジアの漆特性を評価する近年の進歩についてのプロジェクト）を欧米などで進めています。このRADICAL Projectとは、「漆という素材の特性評価、理解とその保存を改善させることを目的として、



漆器の詳細な組成情報を得るために同研究所が開発した新たな方法を普及させること」を目指すもので、欧米でのワークショップには多数の漆工品修復家が参加するなど、漆の化学的特性理解を超え漆器の保存修復にも大きな影響を与えています。

この講演会は、本プロジェクトを進めるシリリング氏らが、保存科学者と修復家との協働がいかに漆器や素材の理解に有効で、また漆器の記述や扱い方への指針となるか、という点について語る日本で最初の機会となります。講演後には質疑応答や討議の時間も設定していますので、漆に関係する修復家や研究者、制作者はもとより、多くの方々のご参加を期待するものです。

【主催】日本漆アカデミー、科研費基盤研究（A）「保存処理材料が共存する有機文化財の後世調査に対する微量分析システムの構築」（代表：神谷嘉美）、科研費基盤研究（B）「断面分析試料からの極微量試料の採取とその化学分析手法の開発」（代表：本多貴之）

【後援】金沢大学 国際文化資源学研究中心



The Getty
Conservation Institute

問合せ：明治大学理工学部応用化学科 本多貴之
〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1
TEL.044-934-7212、e-mail:t-honda@meiji.ac.jp